

防火窓施工要領書

超断熱三層複層ガラス防火樹脂サッシ

シャノンウインド
NS×50

トリプル防火

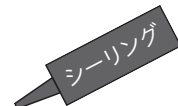
- ・縦すべり出し窓
- ・横すべり出し窓
- ・FIX窓
- ・外開き窓
- ・バルコニー窓
- ・勝手口ドア



施工説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっています。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

シーリングは必ず実施してください！

- シーリング表示をしている箇所は必ずシーリングを行ってください。
シーリングがされないと漏水の原因となったり、建物を傷めるなどの重大事故
につながるおそれがあります。
- シーリング材およびプライマーは、P.3の推奨品を使用してください。



シーリング表示

建材流通店様へのお願い

施工説明書は、必ず建築会社様など、窓を施工される業者様へあらかじめお渡しください。



EXCEL SHANON
株式会社 エグセルシャノン

保存版

2024年11月発行

—— 目次 ——

施工の前に	1
施工時の注意・確認	2
開口部の製作	6
施工手順	8
防水について	12
取付精度について	13
施工についてのお願い	14
商品保証について	16

施工の前に

このたびは、エクセルシャノン商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
商品を正しく施工していただくため、本説明書の内容をご確認ください。
正しく施工されない場合、気密性・水密性の低下や、開閉に支障をきたすおそれがあります。
商品の施工については、必ず本説明書に従ってください。

■ 取扱い時の注意

樹脂製品は、材質の特性上取扱いに細心の注意が必要です。以下の点にご注意ください。

●高温に対して

ストーブやドライヤーなどを近づけたり、直接触れないように注意してください。

高温になると、変形するおそれがあります。

●低温に対して

低温環境で樹脂製品を取扱う場合は、衝撃に注意してください。

低温になるほど衝撃強度が低下するため、破損するおそれが高まります。

●傷に対して

金槌などで直接叩いたり、ナイフで削ったりすると、傷がつきますので注意してください。

●薬品に対して

有機溶剤や塩素系薬品が直接触れないように注意してください。

殺虫剤や防カビ剤などの薬剤が付着しないように注意してください。

薬品や薬剤が付着すると、変色やひび割れが発生するおそれがあります。

〈樹脂製品に悪影響を及ぼすものの例〉

①酸性洗剤 ②アルカリ性洗剤 ③塩素系漂白剤 ④シンナー ⑤アセトン ⑥エタノール

■ 保管時の注意

傷・変形・破損の原因となりますので、以下の点にご注意ください。

●窓が高温にならないように保管してください。

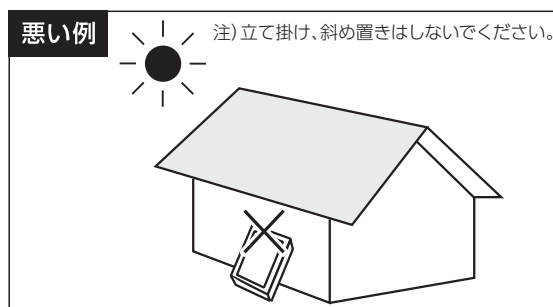
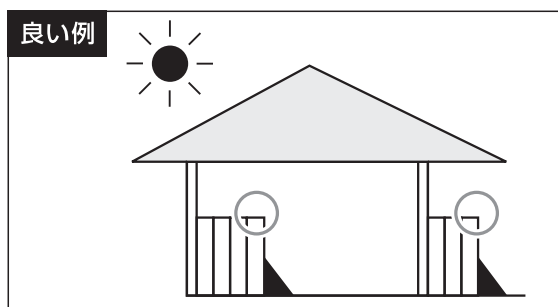
(直射日光を避けるカバーを被せて、風通しの良い場所で保管してください。)

●窓の直下置きを避け、不陸のない場所に柔らかい布や板などを使用して置いてください。

●窓を重ねて保管する場合は、傷やこすれないように緩衝材で保護してください。

●窓の上に物を置かないでください。

●窓が倒れないように紐などで固定してください。また、紐は強く結びすぎないようにしてください。



■ 施工後の注意

傷・破損・汚れの原因となりますので、以下の点にご注意ください。

●窓からの出入り、または材料などの出し入れは避けてください。

●モルタルや塗装が付着しないように注意してください。

●汚れや傷が付きやすい場合は、仮養生を行ってください。

●窓のクリーニングが必要な場合は、中性洗剤水溶液(1%程度)を使用してください。

有機溶剤のご使用は避けてください。

●引渡しの際は、窓の養生テープを全てはがしてください。

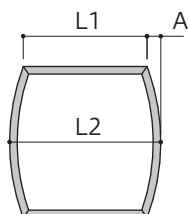
施工時の注意・確認

■ 取付精度

取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。
下記寸法を超えると、機能・性能に支障をきたすおそれがあります。

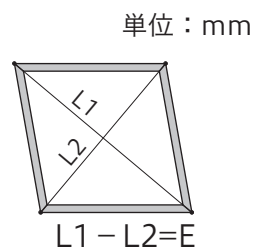
●縦枠のソリ (タイコ)

$L2 - L1$	A
3	1.5



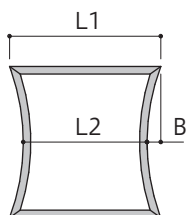
●枠の対角差

E
4



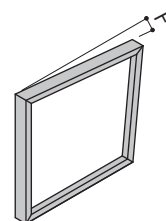
●縦枠のソリ (ツヅミ)

$L1 - L2$	B
3	1.5



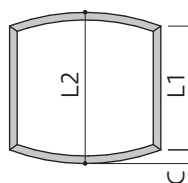
●枠のネジレ

F
2



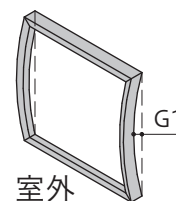
●上下枠のソリ (タイコ)

$L2 - L1$	C
2	1



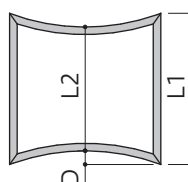
●枠の室外ソリ

G1
1



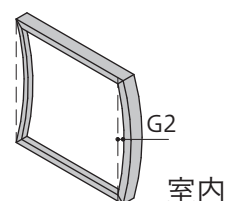
●上下枠のソリ (ツヅミ)

$L1 - L2$	D
1	0.5



●枠の室内ソリ

G2
1



注意

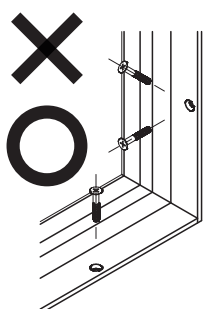
●電動ドライバーなどを使用の際は、締付けトルクは以下を目安に設定してください。

枠部 : 1.0~1.5N・m(10~15kgf・cm)

アングル部 : 1.0N・m(10kgf・cm)

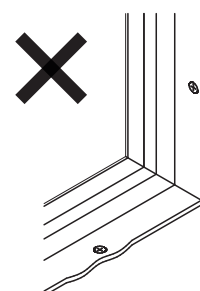
注意

- ねじは取付穴に対してまっすぐに締めてください。
斜めに締めると枠の垂れ下がりなどの原因となります。



注意

- アングル部は適正トルクでねじを締めてください。
締めすぎると波打ちの原因となります。



■ 運搬上の注意

● 枠の片側のみを持たないでください。

● 天地を逆にして持たないでください。

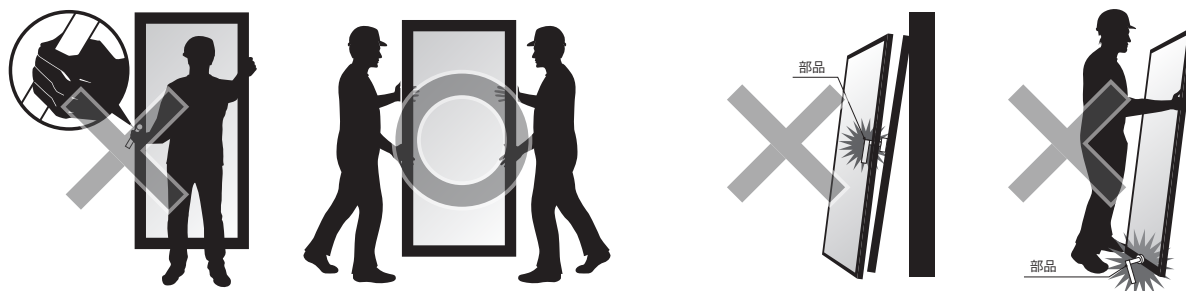


⚠ 枠の破損、ガラスの抜け落ちや割れが発生するおそれがあります。

窓にはハンドルなどの部品が付いています。

● 部品を持って運搬しないでください。

● 部品に衝撃や力がかからないようにしてください。



⚠ 部品の破損、障子の転びが発生するおそれがあります。

■ シーリング材について

シーリング材およびプライマーは、下記の推奨品を使用してください。

推奨品以外を使用されますと、窓の変色やひび割れ(クラック)が発生するおそれがあります。

シーリング材およびプライマーの推奨品

シーリング材種類	製品名	メーカー名	プライマー
1 成分形 変成シリコン系	POSシールマルチノンブリード	セメダイン株式会社	樹脂用途はノンプライマー
	SRシールH100	サンライズ株式会社	1液変成シリコンLM専用プライマー
1 成分形 ポリウレタン系	オートン超耐シーラーTF2000	オート化学工業株式会社	OP-2019
	オートンイクシード		
	オートンサイディングシーラント		OP-2020
1 成分形 シリコン系	8051N 脱アルコールタイプ	セメダイン株式会社	樹脂用途はノンプライマー

● 推奨シーリング材は、アクリルひび割れの原因となる、フタル酸エステル、P P Gなどの可塑剤や高沸点の芳香族炭化水素系溶剤を含まないグレードの製品です。

プライマーは、外壁などの材質によっては、適切でない場合があります。

ご不明な点がございましたら、各メーカーへご確認のうえ、ご使用ください。

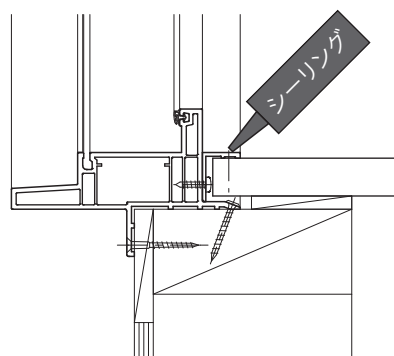
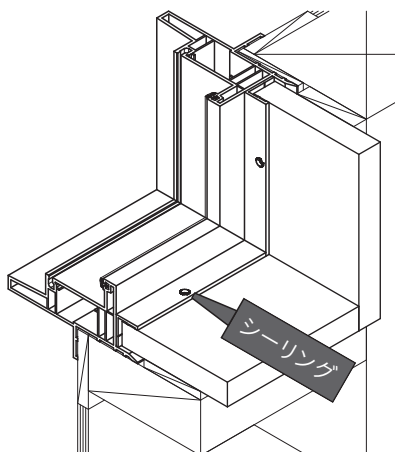
■ 浴室使用時について

本商品は、浴室専用ではありません。

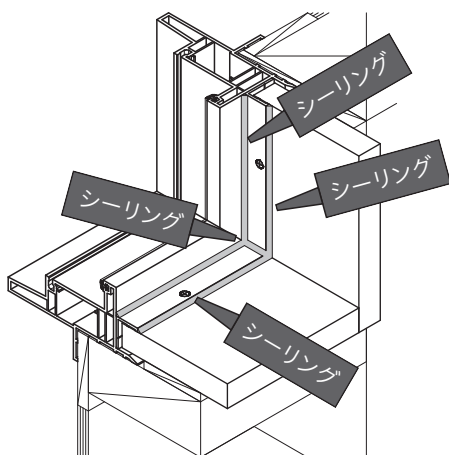
浴室での使用の場合は、漏水防止のため、防水処理を必ず行ってください。

〈アングル付枠〉

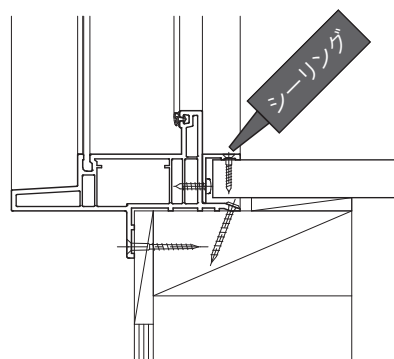
1. 額縁アングル取付穴にシーリング材を充填してください。



2. 額縁アングルをねじ止め後、下記の箇所をシーリングしてください。

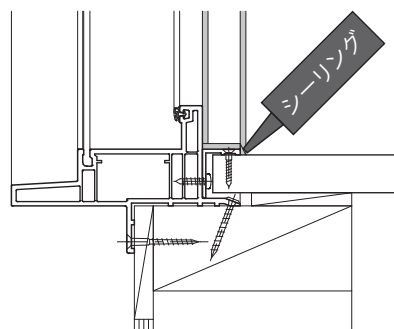
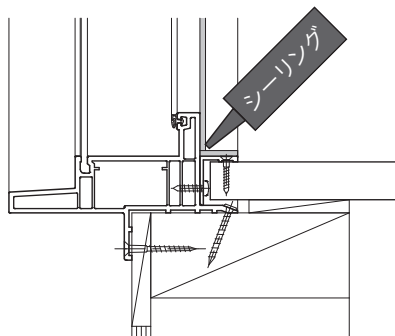


・ねじ頭まわり



- ・枠と額縁アングルの取合い部
- ・額縁アングルのコーナー部

・額縁アングルと額縁の取合い部



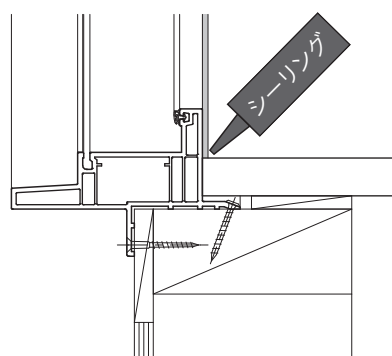
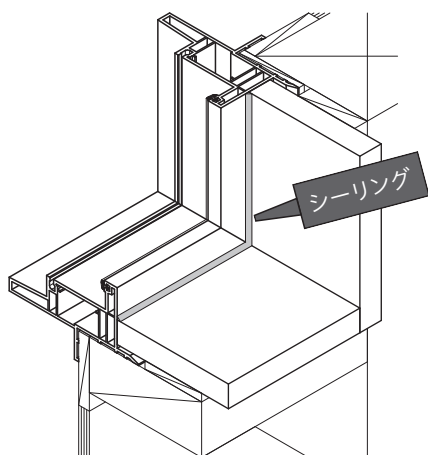
3. はみ出たシーリング材をふき取ってください。

注意

- ねじは取付穴に対してまっすぐに締めてください。
斜めに締めると漏水の原因となるおそれがあります。

〈アングル無枠〉

1. 枠と額縁の取合い部をシーリングしてください。



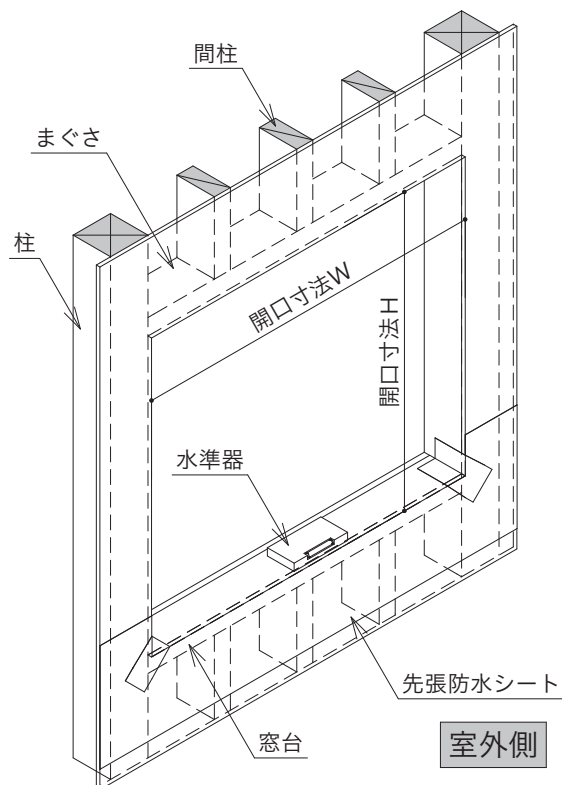
2. はみ出たシーリング材をふき取ってください。

開口部の製作

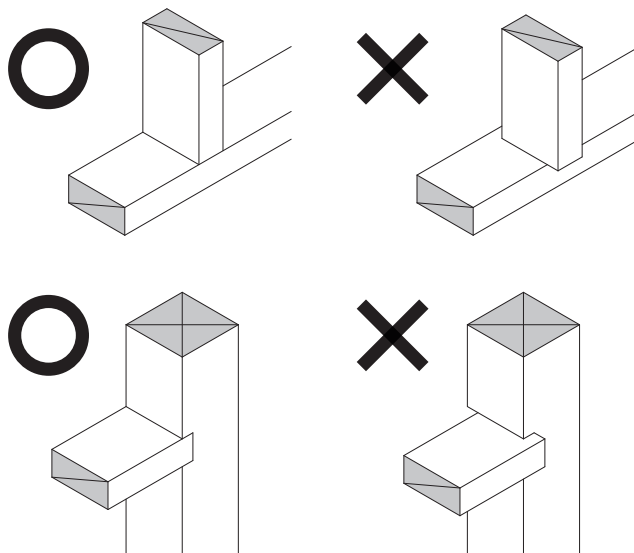
開口部には相当の重量がかかるため、補強をしっかりと行ってください。

まぐさ・窓台・間柱は見付45mm以上のものを使用し、間柱間隔は500mm以下としてください。

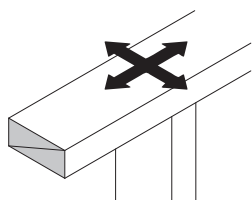
窓台・まぐさが、柱・間柱にしっかり接合されていることを確認してください。



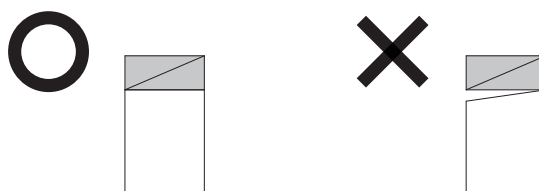
窓台・まぐさ・間柱・柱の接合部に段差がないことを確認してください。



窓台が水平になっていることを確認してください。

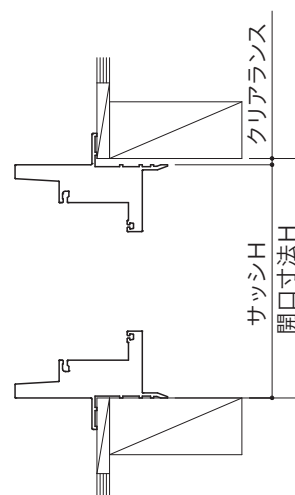
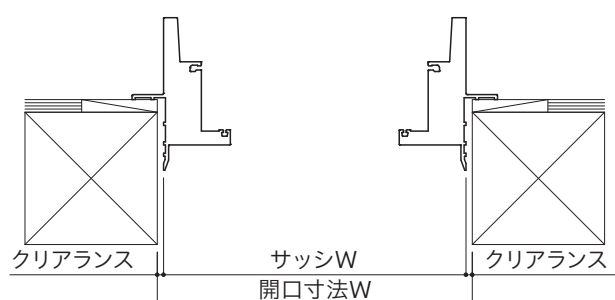


窓台と間柱が水平に組まれていることを確認してください。



■ 開口寸法W・Hのサイズについて

開口寸法W・Hは下図のようにサッシ寸法W・Hに所定の寸法(クリアランス)を加えたサイズで製作してください。下記寸法を加えていない開口部へ枠を取付けた場合、枠の変形などの不具合が生じるおそれがあります。



■ ふかし材を取付ける場合

窓の重量を考慮し、ふかし材は下図のように四方とも枠がしっかりとかかる寸法にしてください。
また、ふかし材を構造材にしっかりと固定してください。

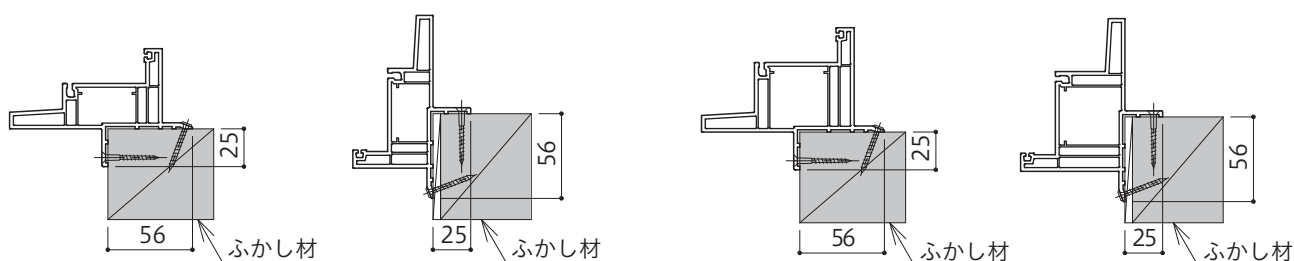
注意

- 「外張断熱工法」の建物は特にふかし材の十分な保持強度を確保してください。
- ふかし材は、枠取付面で四方同面にしてください。

●ふかし材の寸法について

〈縦すべり出し窓・横すべり出し窓・FIX窓〉

〈外開き窓・バルコニー窓・勝手口ドア〉



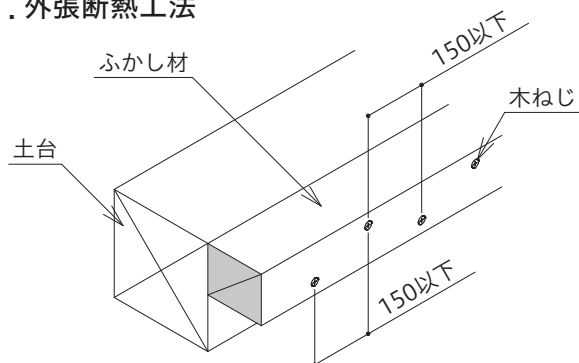
●ふかし材の固定について

お願い

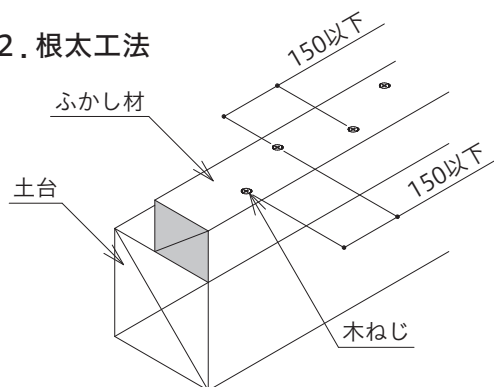
- ふかし材の固定は、木ねじを使用してください。
- 木ねじは、ふかし材(厚さ)の2倍以上の長さのものを使用してください。
- ふかし材は、下図のように固定してください。

構造材に木ねじで150mm以下千鳥配置で固定してください。
固定後、ふかし材に割れがないことを確認してください。

例1. 外張断熱工法



例2. 根太工法

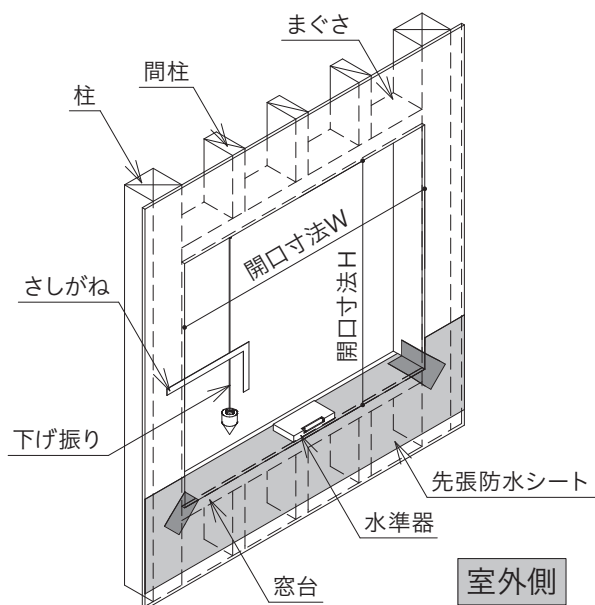


施工手順

1. 開口部の確認

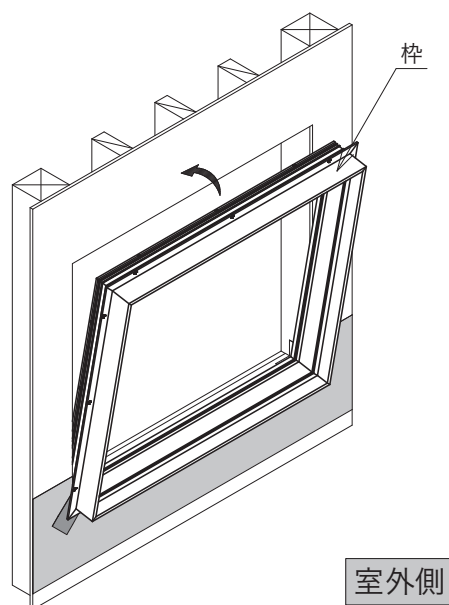
実測した開口寸法W・Hとサッシ寸法W・Hを比較し、クリアランスが適切な寸法であるか確認してください。

水準器で窓台の水平を確認し、下げ振りで柱の垂直をそれぞれ確認してください。



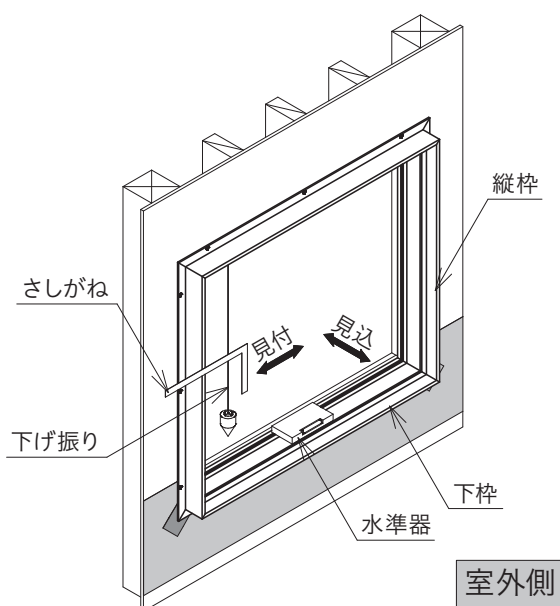
2. 枠の取付(仮止め)

枠を室外側から開口部に建込み、柱と縦枠の隙間を左右均等に揃え、仮止めしてください。



3. 枠の水平・垂直の確認

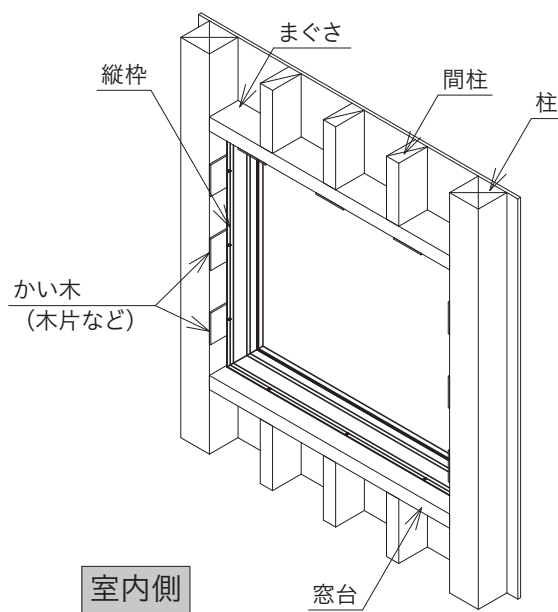
水準器で下枠の水平を確認し、下げ振りで縦枠の垂直をそれぞれ確認してください。



4. 枠の固定

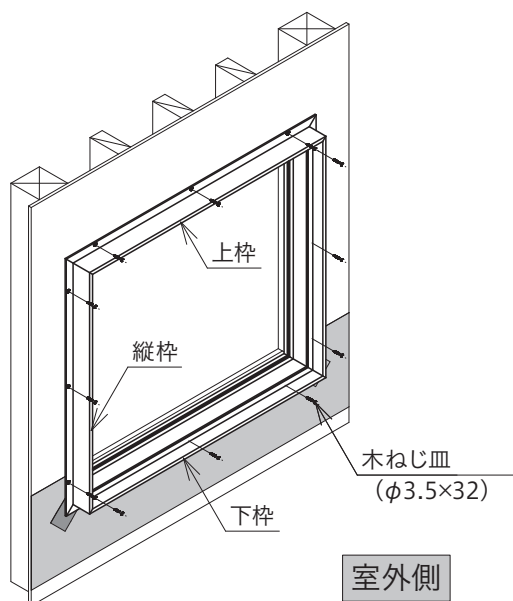
柱と縦枠、まぐさと上枠の間に隙間がないよう、適切な厚さのかい木(木片など)を取付穴にあわせて入れてください。

柱と縦枠のクリアランスは左右均等になるようにしてください。



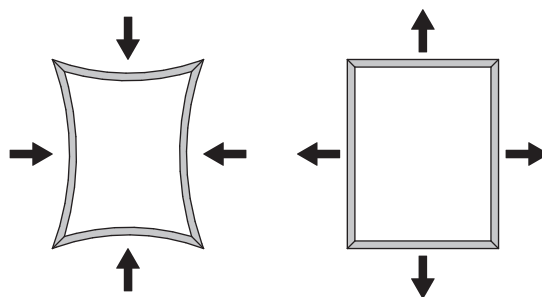
5. 枠の取付(室外側)

取付穴に対して、付属の木ねじ皿(φ3.5×32)で下枠、縦枠、上枠の順に締めてください。

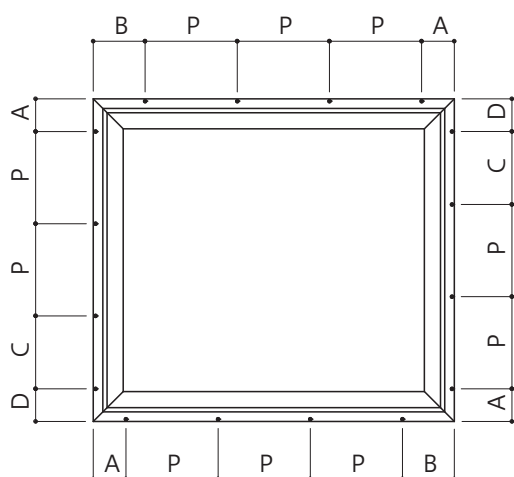


お願い

- 樹脂サッシの特性上、枠の中央部がツツミになりやすいため、ツツミを矯正しながら取付けてください。



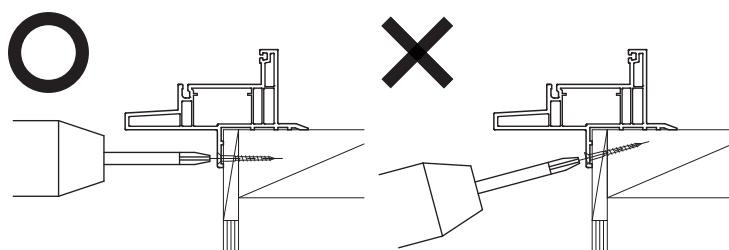
- 取付穴は均等振り分けになっていない場合がありますので注意して取付けてください。



注意

- 施工中は下枠に乗らないでください。枠が破損するおそれがあります。

- ねじは取付穴に対してまっすぐに締めてください。斜めに締めると枠の垂れ下がりなどの原因となります。



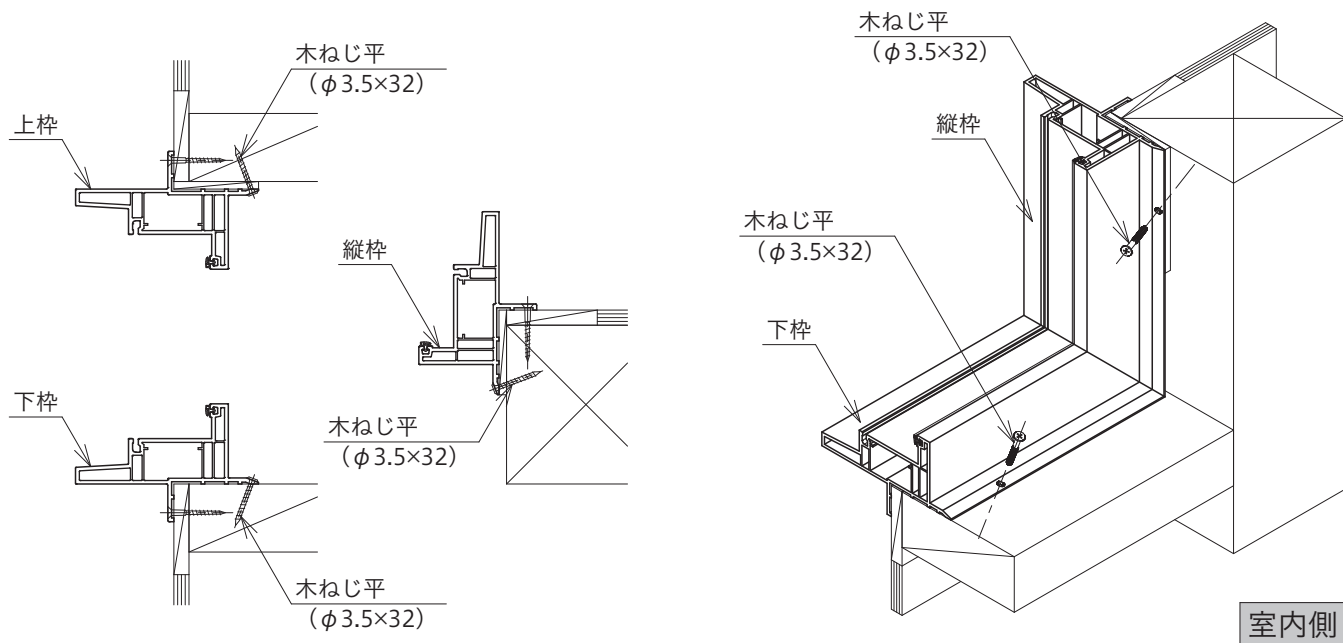
お願い

- 取付精度(P.2参照)を必ず守ってください。取付精度を超えた場合、開閉が重い、隙間風が入るなどの不具合の原因となります。
- 下枠にほこり、木くずなどがたまっている場合は清掃をしてください。障子の開閉に異常、異音が生じるおそれがあります。

6. 枠の取付(室内側)

〈縦すべり出し窓・横すべり出し窓・FIX窓・外開き窓・バルコニー窓・勝手口ドア〉

取付穴に対して、付属の木ねじ平(φ3.5×32)で締めてください。

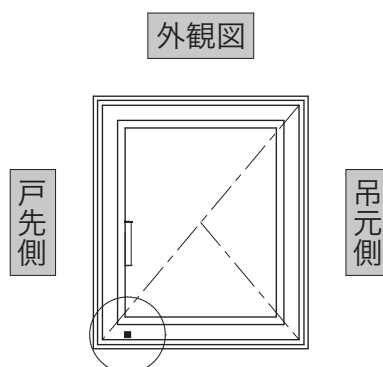
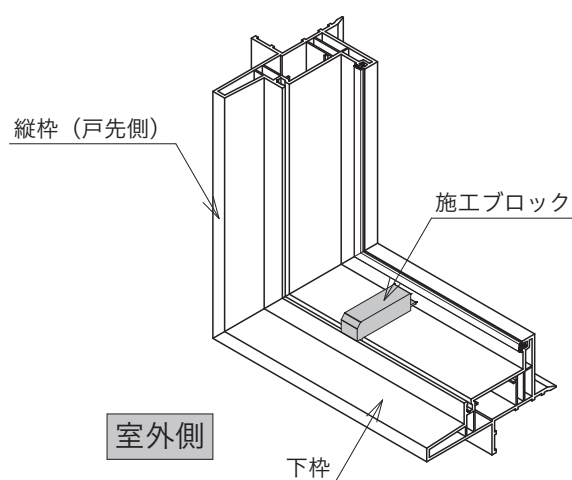


7. 施工ブロックの取外し

〈縦すべり出し窓・外開き窓・バルコニー窓・勝手口ドア〉

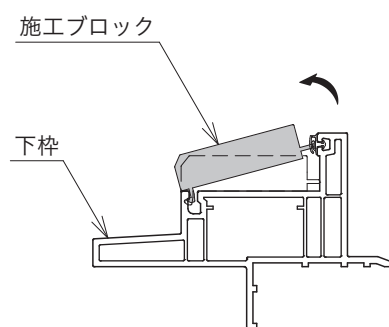
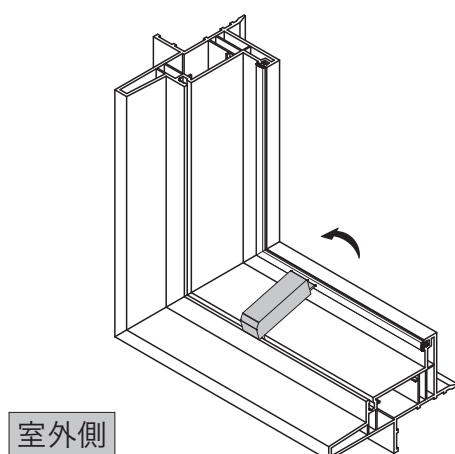
注意

- 下枠の戸先側に施工ブロックが取付いています。
- 施工が完了するまで施工ブロックを取外さないでください。



図は縦すべり出し窓を示しています。

施工完了後、必ず施工ブロックを取外してください。
施工ブロックを取外さずに使用した場合、障子の開閉に支障をきたします。



防水について

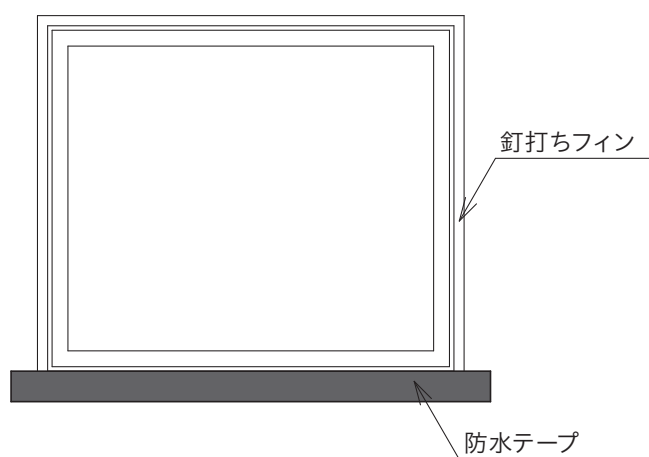
幅75mm以上の防水テープを釘打ちフィンと柱、もしくは構造用合板をまたぐように貼付けてください。貼付けは専用ローラーでしっかりと押えてください。

※説明の都合上、窓台への「先張防水シート」の記載を省略しています。

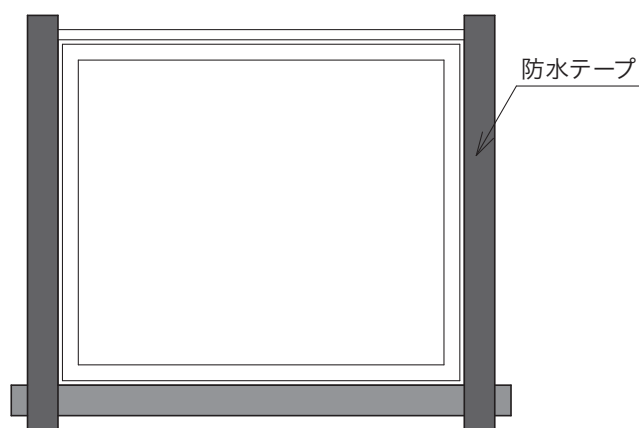
お願い

- 防水テープはねじ頭が隠れる位置に貼付けてください。
- 波打ちなどで隙間ができないように十分圧着してください。
- 防水テープの貼直しはせず、新しい防水テープを貼付けてください。

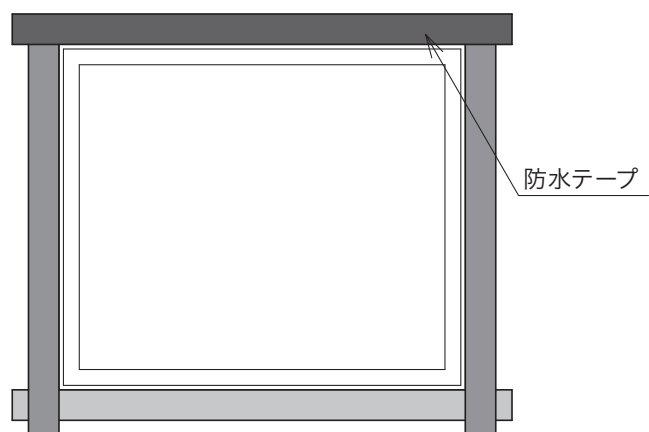
1 下枠部に防水テープを貼付けてください。



2 縦枠部に防水テープを貼付けてください。

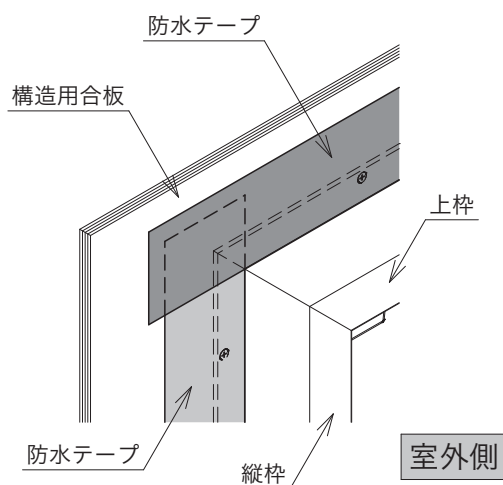


3 上枠部に防水テープを貼付けてください。



注意

- 縦枠部の防水テープが上枠部の防水テープを突き抜けないように貼付けてください。漏水の原因となるおそれがあります。



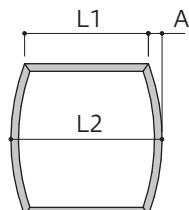
取付精度について

取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。
下記寸法を超えると、機能・性能に支障をきたすおそれがあります。

単位：mm

●縦枠のソリ (タイコ)

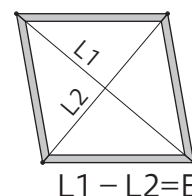
$L2 - L1$	A
3	1.5



- ・気密性が悪くなる
- ・水密性が悪くなる
- ・網戸と枠の間に隙間ができる
- ・施錠時にロックがかからない

●枠の対角差

E
4

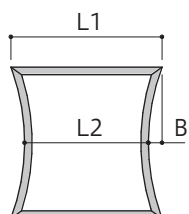


$$L1 - L2 = E$$

- ・気密性が悪くなる
- ・水密性が悪くなる
- ・網戸と枠の間に隙間ができる
- ・施錠時にロックがかからない
- ・クレセントがかからない

●縦枠のソリ (ツツミ)

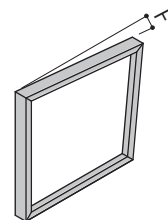
$L1 - L2$	B
3	1.5



- ・気密性が悪くなる
- ・水密性が悪くなる
- ・網戸と枠の間に隙間ができる
- ・施錠時にロックがかからない
- ・クレセントがかからない

●枠のネジレ

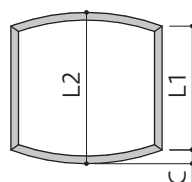
F
2



- ・気密性が悪くなる
- ・水密性が悪くなる
- ・施錠時にロックがかからない

●上下枠のソリ (タイコ)

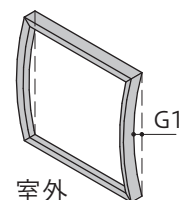
$L2 - L1$	C
2	1



- ・気密性が悪くなる
- ・水密性が悪くなる
- ・クレセントがかからない
- ・障子・網戸が外れる

●枠の室外ソリ

G1
1

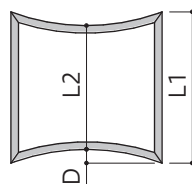


室外

- ・気密性が悪くなる
- ・水密性が悪くなる
- ・開閉が重くなる
- ・障子が枠に干渉する
- ・施錠時にロックがかからない
- ・網戸と枠・障子が干渉する

●上下枠のソリ (ツツミ)

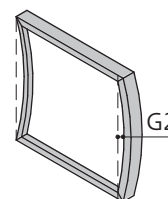
$L1 - L2$	D
1	0.5



- ・気密性が悪くなる
- ・水密性が悪くなる
- ・クレセントがかからない
- ・障子・網戸が建込めない

●枠の室内ソリ

G2
1



室内

- ・気密性が悪くなる
- ・水密性が悪くなる
- ・開閉が重くなる
- ・障子が枠に干渉する
- ・施錠時にロックがかからない
- ・網戸と枠・障子が干渉する

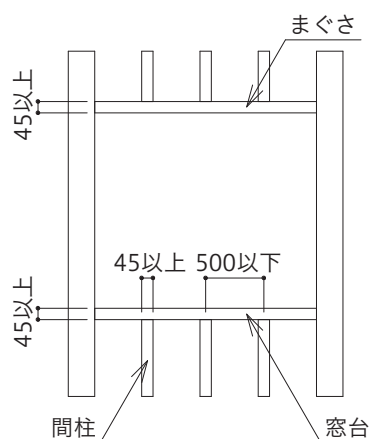
施工についてのお願い

■開口部まわりの気密化と漏水対策

開口部まわりは、建物の工法、求められる性能、立地条件などを考慮し、適切な施工を行ってください。施工では、気密性の確保や漏水防止対策などが重要となります。適切な対策が行われないと隙間が生じたり、漏水の原因となりますのでご注意ください。

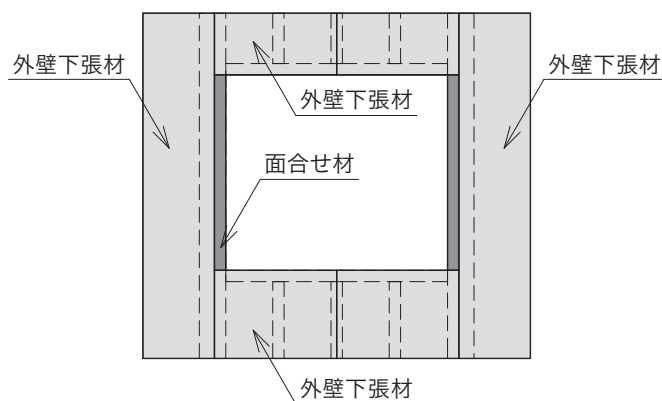
ここに掲載している施工手順は、「透湿防水シート後張りタイプ」の参考例です。

1 開口部を製作してください。

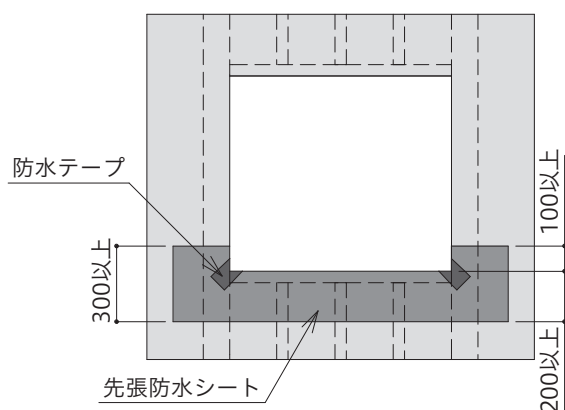


- ・窓台、まぐさ、間柱の見付は45mm以上としてください。
- ・間柱の間隔は500mm以下としてください。

2 外壁下張材を張り、左右柱に下張材と同厚の面合せ材を取付けてください。

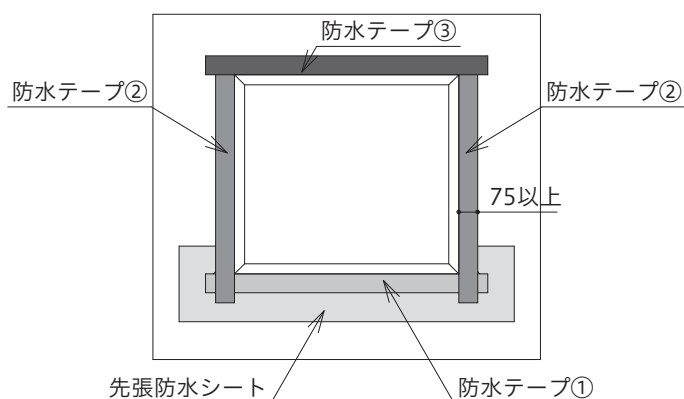


3 窓台に先張防水シートを張り、窓台端部に防水処理を施してください。



- ・柱に沿って切り込んでください。
- ・窓台に向けて折り込んでください。
- ・窓台端部を防水テープでコーナー貼りしてください。

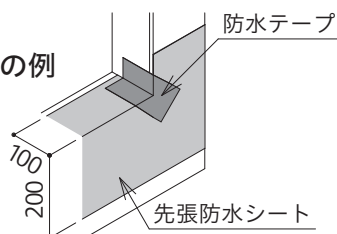
4 枠を取付け、枠四辺に防水テープ(両面タイプ)を貼ってください。



- ・防水テープの幅は75mm以上としてください。
- ・枠四辺(①②③)に防水テープを貼ってください。
※テープは枠の釘打ちフィンを覆うように押し付けて貼ってください。
- ・重なり部分はハクリ紙をはがして貼ってください。

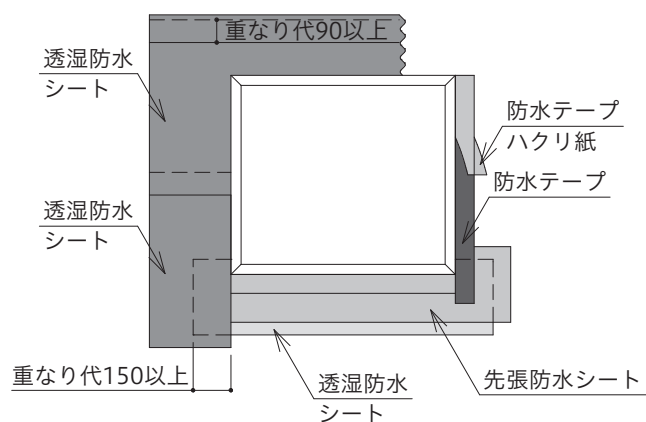
■窓台端部

コーナー貼りの例



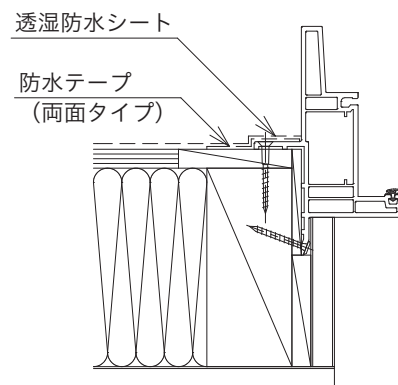
注) 防水テープの重なり部分および、枠との貼り合わせ部分は、十分に強くこすりつけて、ピンホールが生じないように注意してください。

5 透湿防水シートを施工してください。

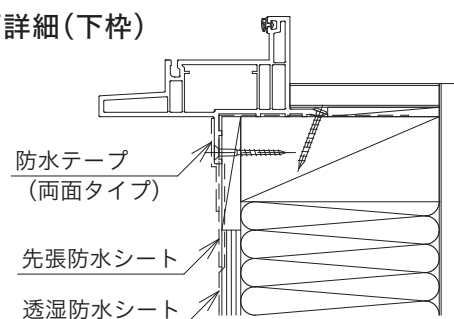


- ・ 防水テープのハクリ紙をはがしてその上から貼ってください。
※防水テープ周辺は、防水シートにシワが生じないように丁寧に施工してください。
- ・ 防水シートの重なり代は、縦90mm以上、横150mm以上を目安としてください。
- ・ 下枠部は、透湿防水シートを先張防水シートの下に差込んでください。

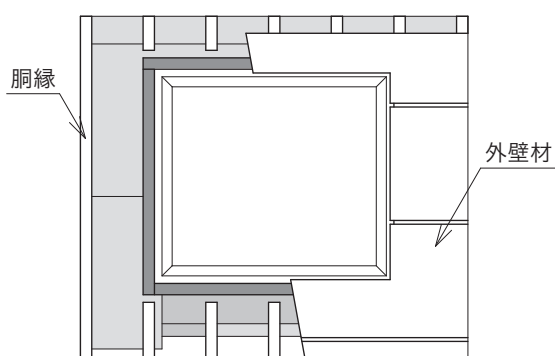
■断面詳細(縦枠)



■断面詳細(下枠)

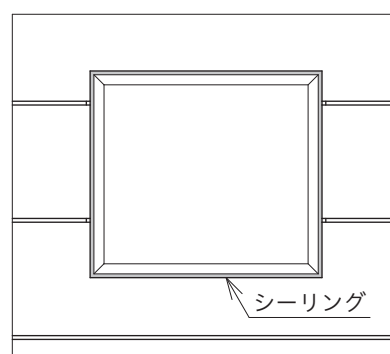


6 胴縁を取付け、外壁材を施工してください。
(横張りサイディングの例)



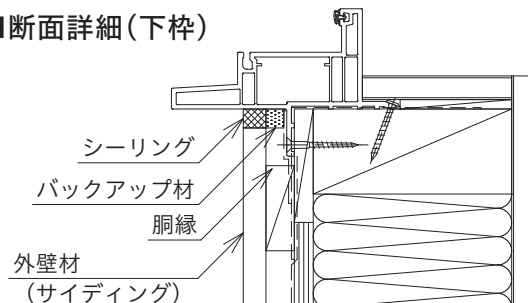
- ・ 柱、間柱のピッチで胴縁を施工してください。(窓上、窓下の airflowを妨げないようにしてください。)
- ・ 枠周囲四方に胴縁を付けてください。
→胴縁は上は横通し、下は縦通しとしてください。
※枠と胴縁の間は、バックアップ材・シーリング代を考慮したクリアランスをとってください。
- ・ 胴縁で透湿防水シートと防水テープを押えるように取付けてください。
- ・ 枠とサイディング端部とのクリアランスは10mm以上を目安としてください。

7 外壁材小口の防水処理と開口部周辺をシーリング施工してください。



- ・ 外壁材小口にはシーリング前に専用のプライマーを塗布してください。(シーリング部分)
- ・ 外壁材小口と枠の間にバックアップ材を充填した後にシーリング施工してください。

■断面詳細(下枠)



商品保証について

当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なうことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下、「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に修理をご依頼ください。

- 保証期間 建築会社様よりの引き渡し日(注1、注2)から2年間。ただし、商品からの雨水浸入については10年間。
(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
(注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。
- 保証内容 取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。
(詳細は取扱説明書(水密性について)をご参照ください)
- 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。
食器用中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。
工事中の養生不良に起因する変色、腐食など)
 - ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
 - ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ④商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や
経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合
 - ⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、
車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ⑥天災、その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波など)に
よる不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
 - ⑦実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
 - ⑧犬、猫、鳥、鼠などの動物に起因する不具合・虫害
 - ⑨引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑩お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造(必要部品の取りはずしを含む)に起因する不具合
 - ⑪本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑫犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
 - ⑬強風時の飛来物、または人為的な飛来物による損傷または不具合
 - ⑭標高1,000m以上に使用し、事前に打ち合わせが行われなかった場合
 - ⑮複層ガラスにマークが打刻されていない場合
 - ⑯熱割れや、強化ガラス(耐熱強化ガラス含む)の自然破損
 - ⑰樹脂に影響を与える有機溶剤などの接触で生じた不具合
(例えば、ソルベントクラック、薬品割れや剥離など)

※次のような消耗部品は有料となります。

気密材(ガラス押えビード、戸当り気密材、モヘア)、風止板、虫止板、外れ止め、ストッパー、振れ止め、調整器、チリ調整具、補助錠、引手、締りハンドル、補助ロック、開放制限ストッパー、アシストハンドル、戸車、サムターン、水抜きキャップ、網戸の網、網押さえなどの合成樹脂製部品

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※この「商品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証内容についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

補修用部品の保有期間について

- ・商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低保有期間は、当社における商品販売終了後10年間です。ただし、商品販売終了後10年間に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は、代替の商品をご提供させていただくこともありますのでご了承ください。
- ・補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。

※機器等の専用の取扱説明書のあるものについては除きます。各々の取扱説明書を確認ください。

